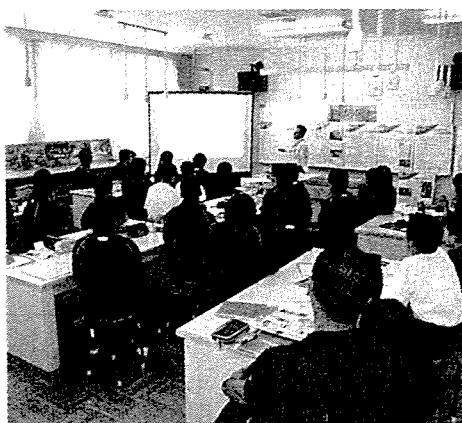


平成28年 6月28日 【火曜日】

## 増毛山道の会が中学校で出前授業 山道への興味関心深め 国土地理院・岩田氏の講話も

【留萌発】NPO法人増毛山道の会（伊達東会長）

は二十四日、増毛町立増毛中学校で増毛山道について説明する出前授業を実施した。写真Ⅱ。同校一年生三



深めていた。増毛山道は、江戸時代に活躍した商人・伊達林右衛門が安政四年（西暦一八五七年）に開通させた増毛町

十二人を対象に山道の歴史などを紹介したほか、国土地理院北海道測量部の岩田昭雄氏による講話も実施。生徒たちは真剣な表情で授業に臨み、山道に対する興味関心を

別荘と石狩市幌を結ぶ延長約三十七キロの交易路。山道の歴史や文化を風化させないため、平成二十年に発足した増毛山道の会が復元活動を進めている。この日の出前授業では、同会の事務局長を務める小杉測量設計㈱（留萌、小杉由明社長）の小杉忠利会長ら同会会員が講師を担当。八月に予定されている増毛中一年生の増毛山道体験トレッキングを前に、山道の歴史などを写真やパンフレットを使い分かりやすく説

明した。このあと、国土地理院北海道測量部の岩田氏が「地図と測量と増毛山道」と題し講話を行い、地図をつくる流れや国土地理院の地図に増毛山道を掲載しようとする取組について紹介。生徒たちに、「国土地理院の地図には増毛山道はまだ掲載されていない。トレッキングの時にGPS受信機を付けて歩いてもらい、そのデータを地図に反映させた」と協力を求めた。